



松浪中だより

茅ヶ崎市立松浪中学校

学校だより 第3号

2026年6月1日

学校教育目標

～ふれあい 思いやり 正しい行動～

発行 尾木 左紀子

練習・準備の集大成だった体育大会 ～輝顔連戦 繋げ笑顔～

5月28日（木）に第66回体育大会を実施いたしました。

体育大会を成功させるために、実行委員のみなさんは朝早くから準備をしたり、練習時も皆さんの動きに気を使い、声をかけていました。特に3年生の実行委員の皆さんは本当に立派でした。縦割りの綱引きの練習では大勢の1年生2年生に声をかけ、パフォーマンスで盛り上げたり、引っ張り方を伝授したりと先輩として後輩に指導をしていました。実行委員長は常に冷静であり、予行練習ではみなさんの様子を見て、良かったところと悪かったところをしっかりと把握し、次に何をやるべきかを全体に伝えていました。生徒の皆さんは実行委員の気持ちをしっかりと受け止め、実行委員の声掛けにこたえ、次の練習に向かう姿がありました。グラウンドの準備、皆さんが使うトイレの準備…目立たないところまでしっかりと準備を行いました。陸上部の皆さんは前日遅くまでグラウンドの準備を行っていました。美術部の皆さんは1年生から3年生まで役割分担をし、横断幕を早くから作成していました。クラス旗については、どのクラスも4月からデザインを決め、丁寧な色塗りを行いました。どのクラスに聞いても「うちのクラスの旗が一番」といえる出来栄で仕上げることができました。・・・ここに書いたのは私が実際に見たほんの一握りの様子です。私の知らないところで生徒の皆さんは各クラス、学年等の様々な場面で「自分のために」「誰かのために」「クラスのために」一生懸命に練習や準備に取り組んでいたことでしょう。ありがとうございます。

当日はそんな皆さんの努力の成果が全ての学年で見られました。1年生の皆さん、初めての体育大会でしたが、3学年の中で一番大きな声を出して応援していました。「台風の目」ではどのクラスもがんばり、大接戦でしたね。2年生の皆さん、3年生の言うことをよく聞き、3年生の背中を見て、1年生に指示をするような場面がたくさん見られました。「キャッチ・ザ・ウェイブ」は一生懸命やればやるほどうまくいかないこともあったけど最後まであきらめずに頑張りました。そして、最後の体育大会を迎えた3年生は最後まで会場を盛り上げました。ブロック対抗綱引きのパフォーマンスは一番盛り上がり、「みんなでジャンプ」は息をのむような戦いを見せてくれました。本当に先輩たち、かっこよかったです。感動をありがとうございました。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、グラウンドが狭いために観覧場所が限られている中、譲り合いながら工夫してご覧いただき、ありがとうございました。皆様からもたくさんの声援が聞こえてきました。生徒の皆さんの心強い励みになったと思います。今後も様々な機会を通して学校の様子を見ていただき、応援していただければと思います。

	優勝	準優勝
1年生	1C 青	1A 赤
2年生	2C 青	2D 緑
3年生	3A 赤	3B 黄
ブロック別	C 青	A 赤



体育大会のスローガンと横断幕に込めた思い (by 体育大会実行委員・美術部)
今年度の体育大会スローガンは、「輝顔連戦 繋げ笑顔」…「生徒一人ひとりの笑顔が学校全体に溢れ、全体の絆がより深まるような体育大会にしたい」という実行委員さんの思いが詰まったものです。そこで横断幕では、ひとりひとりの「笑顔」をエネルギーに満ちた太陽で表現しました。そこから放たれる「4色の光」は各クラスのカラーであると同時に、次へつなぐ「たすき」でもあります。太陽のような笑顔がたすきとなってつながっていくことで学校全体が明るく照らされ、みんなの絆がより一層深まるようにという願いを込めたデザインになっています。それぞれのクラスカラーの光が交わるように工夫しました。(体育館に飾っています。)

さて、6月からは教育相談期間です。まずは誰かに話してみましょ。

4月に始まった学校生活から2か月がたちました。新しいクラスでの授業、仲間づくり、様々な行事、体育大会…そろそろ心身共に疲れてしまったり、心配なことが始まる時期です。

6月の第2週目から教育相談期間が始まります。基本は担任の先生と昼休みや放課後を使って一人10分程度話をしていきます。教育相談期間中においては17時までは教育相談優先の時間となります。

しかし、困ったことは突然起こるかもしれません。担任の先生ではなくても、「少しでも早く相談したい」「この先生になら話せる」と思ったら、気軽に声をかけてください。「困ったなあ」と思ったら、まずは誰かに話してみることで。先生たちからも、皆さんを見ていて気になることがあれば声をかけることがあるかもしれません。

もちろん学校にはスクールカウンセラーや心の教育相談員もおります。学校の先生以外に話をしてみたいと思ったら、学年の先生や後藤先生に相談してみてください。

保護者の皆様のご相談についても随時受け付けております。ご心配なこと、気になることがありましたら、いつでもご相談ください。よろしく願いいたします。

火災訓練(5月12日)・引き取り訓練(本日実施)・・・常日頃からの防災意識が自分、そして周りの命を助けること(自助・共助)につながります。

5月12日(火)の6校時、火災訓練を行いました。防災だよりでもお伝えしたように、茅ヶ崎市は1件の火災から大規模な火災へと発展する危険性が高いエリアであり、県では最大のクラスター地域だといわれています。最近では若手県太榎町で山火事が発生し、地域住民の方が避難する様子が報道されていました。防災訓練は常に災害を自分事としてとらえることに意義があります。

生徒の皆さんの避難の様子は迅速で、自分の姿勢を低くしてハンカチを口に当てるなどの一酸化炭素中毒の予防姿勢もできており、先生方の話も落ち着いて聞けていました。火災の場合は教職員が「教室の消灯・窓の戸締り・ドアを閉める」を必ず行います。理由は電気の消し忘れによる事故(過熱・電灯の破裂を防ぐ)や空気の供給を遮断し、酸素不足にすることで火の広がりや煙の拡散を防ぐためです。

ちなみに地震の時は窓やドアは開けます。ご存じかもしれませんが、これは地震の揺れによって建物がゆがみ、窓やドアが開かなくなると閉じ込められてしまうのを防ぐためです。

冷静に考えればわかることですが、災害時はなかなか冷静ではいられないかもしれません。それでも訓練を重ねていくことは、経験となり、いざという時の備えになります。

今日は引き取り訓練、平日ですが、多くの保護者の方々にご来校いただきありがとうございます。

昨年の8月に茅ヶ崎市津波ハザードマップが改定されたことを受け、今年度から防災計画を見直しました。**松浪中学校は津波浸水想定区域外に位置しますので、指定緊急避難場所ではありませんが、水平避難が適当な場所です。つまり、建物の3階以上に避難する必要はありません。**本日の避難訓練も3階以上に全員避難するということはせず、教室での待機となります。**地域の方々が避難されてきた場合も、避難場所は原則、体育館となりますのでご理解、ご協力をお願い致します。**

今後も学校での防災訓練は継続していきますが、ご家庭でも様々な災害に対する対応について話し合いをしていただければと思います。

校内研究テーマは「『自ら分かる』を目指した授業研究～生徒を主語にした授業改善」

松浪中学校では授業改善を目的に、毎年校内研究会を行っています。今年度は、横浜国立大学教職大学院の教授である青木弘先生に講師として来ていただき、年に4回の校内授業研究会を行う予定です。授業研究会を実施するにあたり、授業内容の検討などの準備を重ねています。5月8日（金）には15日の授業実施に向けての研究会を持ち、5月15日（金）に第1回校内授業研究会を行いました。今回は3年生で、A組では奥原先生（英語）、B組では隈部先生（理科）、C組では矢代先生（社会）、D組では桑原先生（数学）が授業公開をしました。

青木先生からいただいた課題「チャレンジすること」「真似してほしい授業にすること」。各先生方がより良い授業にするために、一人で考えたり（一人学び）、他の先生方の意見を聞いたり（学びあい）しながらチャレンジした姿を見ることができたと思います。先生たちも生徒の皆さんとともに学び続けていきます。ですから、生徒の皆さんも授業を受けてみて、わからないこと、困ったことがあったらいつでも相談してください。皆さんの疑問や困り感がより良い授業のヒントになり、皆さんが「自らわかる」授業につながります。

保護者対象の学習評価説明会を行いました。ご来校ありがとうございました。

5月21日（木）には保護者対象の学習評価説明会を行いました。お忙しい中ご来校していただきありがとうございました。桑原先生からは本校の校内での授業研究について、校長からは、本校が取り組む学習評価について、説明をさせていただきました。御欠席された保護者の皆様には、お子様を通して資料をお渡しいたしております。ご一読いただければと思います。また、ご不明な点については、いつでも学校にご相談ください。参加者アンケートの回答につきましては、後日別紙にてお伝えする予定です。

さらに、日頃の授業の様子や学習評価の取り組みをご理解いただくために、年度当初にお知らせしました教科ごとの年間学習計画、各教科で単元ごとに配付している「学びのプラン」やお子様で授業で使用するロイロノートアプリを見ていただければと思います。

「学びのプラン」は教科によってプリントで配付したり、ロイロノートで示したりと配付の仕方は異なりますのでお子様にご確認ください。

ロイロノートは授業で使用しているアプリであり、授業の教材の掲示、授業中に得た知識や考えを書き込むワークシート、学び合いの際に自分の考えを書き込むシートなど様々な活用をしております。

ご家庭では、お子様が持ち帰ったタブレットでご覧になるか、ご家庭にあるスマートフォンやPCでロイロノートアプリをダウンロードしていただき、お子様のGoogleアカウントを使ってログインすることで見ることができます。ただし、お子様にとっては大切な個人情報ですので、ご覧になる際はお子様の了承を得ていただければと思います。

「SNSなどのトラブルによる被害にあわないために」5つのリスクを意識しよう！

5月15日（金）「携帯安全教室」を全校生徒対象に行いました。「SNSなどのトラブルによる被害にあわないために」という視点のもと、被害につながる5つのリスクについて生徒指導担当の大林総括教諭がお話をさせていただきました。

- ①誤解リスク…「自分と相手の違い」があることを知ろう
- ②つながりリスク…「相手の情報」を冷静に判断しよう
- ③コミュニケーションリスク…「上手な伝え方」を考えよう
- ④写真リスク…「写真から伝わる情報」を意識しよう
- ⑤拡散リスク…「一度公開した写真は消せない！！」「ネットのこわさ」を忘れない

5つのリスクについて理解することで「SNSで知らない人と知り合った時、相手に対して不安や疑問があれば、信頼できる大人に相談し、安易にやり取りしない。」「一度公開した写真は消去できない危険性を意識しながら、写真を公開しても大丈夫かどうかを慎重に判断する」といった被害にあわないために気を付けなければならないことを全校生徒で学びました。生徒の皆さんも1時間盛りだくさんの内容でしたが、時には笑ったりしたり、大きくなすいたりしながら真剣に聞いていました。

最近では毎年、生徒間でもSNSによるトラブルが起こっているのも事実です。

ご家庭でも「5つのリスク」について話題にしていただき、スマートフォンなどを使用する際の家庭でのルールを見直してみてください。

